

たきだにがわ 滝谷川遺跡 現地説明会資料

日程：令和7年12月17日（水）

場所：久米郡美咲町飯岡
滝谷川遺跡発掘調査現場

主催：岡山県古代吉備文化財センター

岡山県古代吉備文化財センターでは、一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴い6月から滝谷川遺跡の発掘調査を行っています。

滝谷川遺跡は久米郡美咲町飯岡に所在し、月の輪古墳がある山の麓、吉井川と吉野川の合流点を見おろす緩やかな斜面地にあります。

これまでの調査では、主に縄文時代後期（約4,000年前）から奈良時代（約1,300年前）にかけての遺構や遺物が見つかっています。弥生時代では、中期（約2,100年前）の縦穴住居1軒と土坑、後期（約1,900年前）の縦穴住居2軒と土坑を確認しました。縦穴住居はいずれも円形で、土器が多数出土したほか、後期の縦穴住居の1軒からは、板状鉄斧が出土しました。

また、現在調査中ですが飛鳥（約1,400年前）～奈良時代と考えられる方形の縦穴状遺構も確認しました。床面の広い範囲が熱を受けて赤く焼けており、土器の他に鉄滓も出土しています。調査地は元々谷と丘の境にあたる場所で、古くに土石流で埋まった谷の上に弥生時代中期から後期の集落が営まれていたことが分かりました。土石流の上部で縄文時代後期の土器片が出土したことから、谷は縄文時代後期以前に埋まったと考えられます。



滝谷川遺跡と周辺の遺跡 (1/20,000)

国土地理院電子地形図を加工



① 竪穴住居
時期：弥生時代後期
(南東から)



③ 竪穴状遺構
時期：飛鳥～奈良時代
(南から)



② 竪穴住居
時期：弥生時代後期
(南東から)



④ 竪穴住居
時期：弥生時代中期
(南東から)

滝谷川遺跡の主な遺構 (1/400)

※本資料の内容は、調査中につき変更の可能性があります。引用・改変・再配布はご遠慮ください。

岡山県古代吉備文化財センター

〒701-0136 岡山市北区西花尻 1325-3
TEL 086-293-3211 FAX 086-293-0142
<https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/>

